

SCBSHINKIN
CENTRAL
BANK**産業企業情報****2021-10****(2022. 1. 27)****信金中央金庫****SCB 地域・中小企業研究所**〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7
TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp>

全国中小企業景気動向調査からみた中小企業の動向

—仕入の困難と人手不足が深刻化—

視 点

本稿では、信金中央金庫が全国の信用金庫の協力を得て取りまとめている全国中小企業景気動向調査（調査期間：12月1日～7日）において、信用金庫調査員が全国の中小企業から聴取したコメントをもとに、中小企業の経営の状況についてまとめる。

経済活動の再開に伴い、仕入の困難を訴える声が増している。また、これまで通り、人手不足に関するコメントや新型コロナウイルスによる需要低下の被害を訴えるコメントもみられた。また、事業転換や新分野参入など、前向きな取組みをしている企業のコメントもみられた。

要 旨

- 2021年12月の業況は、前期比で改善した。過去最悪水準となった2020年6月と比較すれば相対的に良い水準にあるものの、新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると依然として低水準にとどまっている。また、2022年3月見通しはわずかな低下を見込んでいる。
- ウッドショック、半導体不足、その他原材料不足や資源価格高騰といった、いわゆる仕入の「不足」や「価格上昇」に関連するコメントが増している。
- 前回に引き続き、人手不足を訴えるコメントが多くみられた。最低賃金引き上げによる経営への悪影響を訴える声も聴かれた。
- コロナによる需要低迷や各種イベントが中止になったことに関連した被害を訴えるコメントは、減少傾向にはあるものの、引き続き多い。
- 一方で、新商品開発やM&Aなどを通じた新事業展開といった前向きなコメントも幅広く寄せられている。また、ネット販売やSNSによって需要を獲得したとのコメントは数多くみられた。
- 信用金庫をはじめとする金融機関からは、事業承継支援や補助金支援、ビジネスマッチング、人材サイトの紹介など、各種支援を行っている様子が見える。

キーワード

中小企業景気動向調査 中小企業経営者 ウッドショック 半導体不足 原材料価格上昇
人手不足 新型コロナウイルス SNS M&A

目次

はじめに

1. 2021年12月調査における業況の概観
2. 調査員のコメントから
 - (1) 仕入材料不足、価格上昇
 - (2) 人手不足
 - (3) コロナによる苦境
 - (4) そのほか経営面での苦境
 - (5) 前向きな取組み
 - (6) 信用金庫、金融機関の取組み

おわりに

はじめに

信金中央金庫では、全国の信用金庫の協力を得て、四半期ごとに「全国中小企業景気動向調査」を取りまとめている。

本調査の特徴の1つに、実際に中小企業から聞き取りをしている信用金庫職員の視点からその企業を分析した「調査員のコメント」欄の存在がある(図表1)。コメント欄には、その企業の状況について、定型的な質問への解答だけからはわからない実態が細かく記述されており、中小企業の現状についてわかりやすく伝えてくれている。

(図表1) 全国中小企業景気動向調査の調査表(左下、破線の円部分が「調査員のコメント」)

特別調査 [2022年(令和4年)の経営見通し]

問1. 貴社では、2022年の日本の景気をごどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い	4. 普通	5. やや悪い	回答欄
2. 良い	6. 悪い	7. 非常に悪い	1-7
3. やや良い			<input type="text"/>

問2. 貴社では、2022年の自社の業況(景気)をごどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 非常に良い	4. 普通	5. やや悪い	回答欄
2. 良い	6. 悪い	7. 非常に悪い	1-7
3. やや良い			<input type="text"/>

問3. 2022年において貴社の売上額の特伸びは、2021年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. 30%以上の増加	5. 変わらない	6. 10%未満の減少	回答欄
2. 20-29%の増加	7. 10-19%の減少	8. 20-29%の減少	1-9
3. 10-19%の増加	9. 30%以上の減少		<input type="text"/>
4. 10%未満の増加			

問4. 貴社では、自社の業況が上向き転換点を見つねると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。

1. すでに上向いている	5. 3年後	回答欄
2. 6か月以内	6. 3年超	1-7
3. 1年後	7. 業況改善の見通しは立たない	<input type="text"/>
4. 2年後		

問5. 様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。上昇分を販売価格に転嫁できている方や、そもそも原材料・仕入価格が上がっていないという方は1を、また、価格転嫁できていない方は仕入(調達)価格上昇への対応について2-9の中から最大3つまで選んでお答えください。

1. 販売価格に転嫁できている・仕入価格は上がっていない	回答欄
2. 仕入先・仕入方法の変更	1-9
3. 製品・商品・サービスの見直し	<input type="text"/>
4. 経費の削減	<input type="text"/>
5. 生産性の向上(システム投資など)	<input type="text"/>
6. 代替品の確保	<input type="text"/>

調査員のコメント

お忙しいところご協力いただきましてありがとうございました。

第186回全国中小企業景気動向調査表(製造業)

2021年10-12月期

信用金庫

<番号記入要領>

金庫コード.....手形交換に使用する統一金庫コードを記入してください。
 地域番号.....下記地域番号表を参照して、調査企業の所在地に該当する番号を記入してください。
 業種番号.....下記業種番号表を参照して、該当する番号を記入してください。
 従業員数.....雇用人、家族従業員を含み、パートを除く従業員数を0005人のように記入してください。
 また、パート・アルバイト数につきましては、調査時点における人数を記入してください。

※あてはまらない項目や不明な項目についての番号欄は、空白のままご記入ください。

(地域番号表)

(01) 北海道	(13) 東 京	(25) 滋 賀	(37) 愛 媛
(02) 青 森	(14) 神 奈 川	(26) 京 都	(38) 徳 島
(03) 岩 手	(15) 新 潟	(27) 大 阪	(39) 香 川
(04) 宮 城	(16) 山 梨	(28) 兵 庫	(40) 福 岡
(05) 秋 田	(17) 長 野	(29) 奈 良	(41) 佐 賀
(06) 山 形	(18) 高 山	(30) 和 歌 山	(42) 長 崎
(07) 福 島	(19) 石 川	(31) 鳥 取	(43) 熊 本
(08) 茨 城	(20) 福 井	(32) 島 根	(44) 大 分
(09) 栃 木	(21) 岐 阜	(33) 岡 山	(45) 宮 崎
(10) 群 馬	(22) 静 岡	(34) 広 島	(46) 鹿 児 島
(11) 埼 玉	(23) 愛 知	(35) 山 口	(47) 沖 縄
(12) 千 葉	(24) 三 重	(36) 香 川	

(業種番号表)

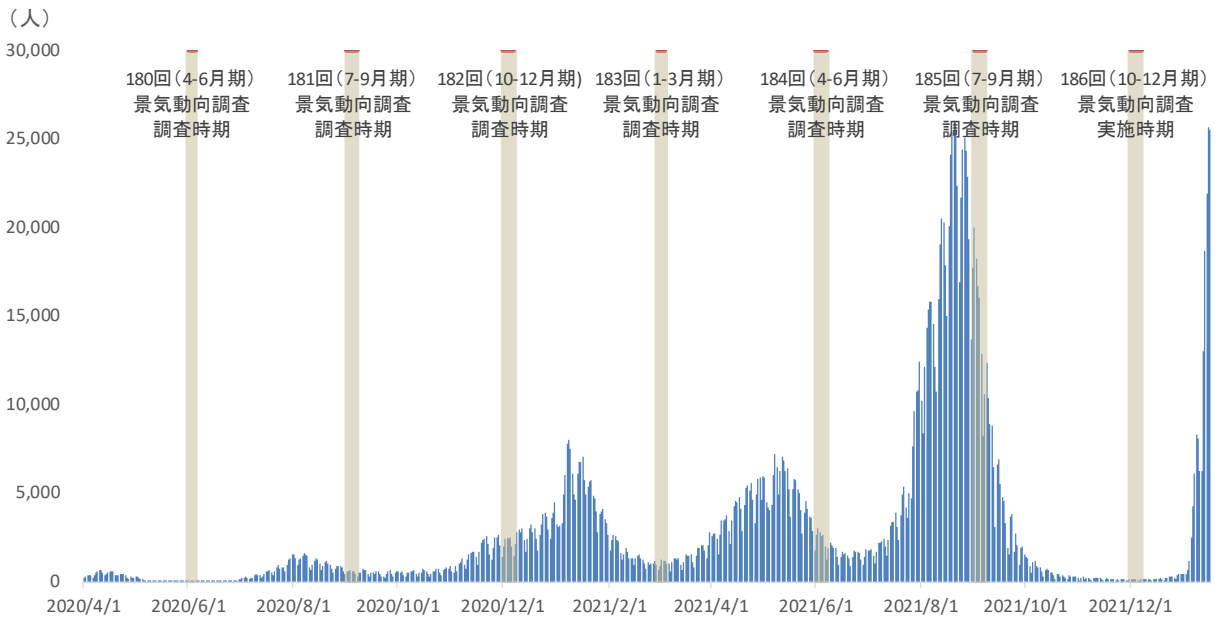
(11) 食料品製造業	(19) ゴム製品製造業	彫刻業、熱処理業
(12) 繊維工業(衣服・その他の繊維製品を除く)	(20) なめしかわ・同製品・毛皮製品製造業	(27) 一般機械器具製造業
(13) 衣服・その他の繊維製品製造業	(21) 窯業・土石製品製造業	(28) 電気機械器具製造業
(14) 木材・木製品製造業(家具を除く)	(22) 鉄鋼業	(29) 輸送用機械器具製造業
(15) 家具・装飾品製造業	(23) 非鉄金属製造業	(30) 精密機械器具製造業
(16) プラスチック・紙加工品製造業	(24) 金属製品製造業(25・26を除く)	(31) 貴金属製造業
(17) 出版・印刷・同関連産業	(25) 建設用・建築用金属製品製造業(鉄骨・鉄骨鋼筋を含む)	(32) 器具・運動競技用具製造業
(18) 化学工業	(26) 金属プレス・メッキ	(33) 装身品・装飾品・ボタンの製造業
		(34) 陶磁器製造業
		(35) その他の製造業

(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

そこで本稿では、2021年12月調査の結果を振り返るとともに、「調査員のコメント」欄をまとめることで、中小企業における新型コロナウイルスの影響について概括する。

なお、第186回調査の調査期間は12月1日～7日である。この時期は、感染が落ち着き、国内の新規感染者数が大幅に低下していた時期にあたる（図表2）。

（図表2）国内の新規感染者数の推移



（備考）厚生労働省資料等より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

1. 2021年12月調査における業況の概観

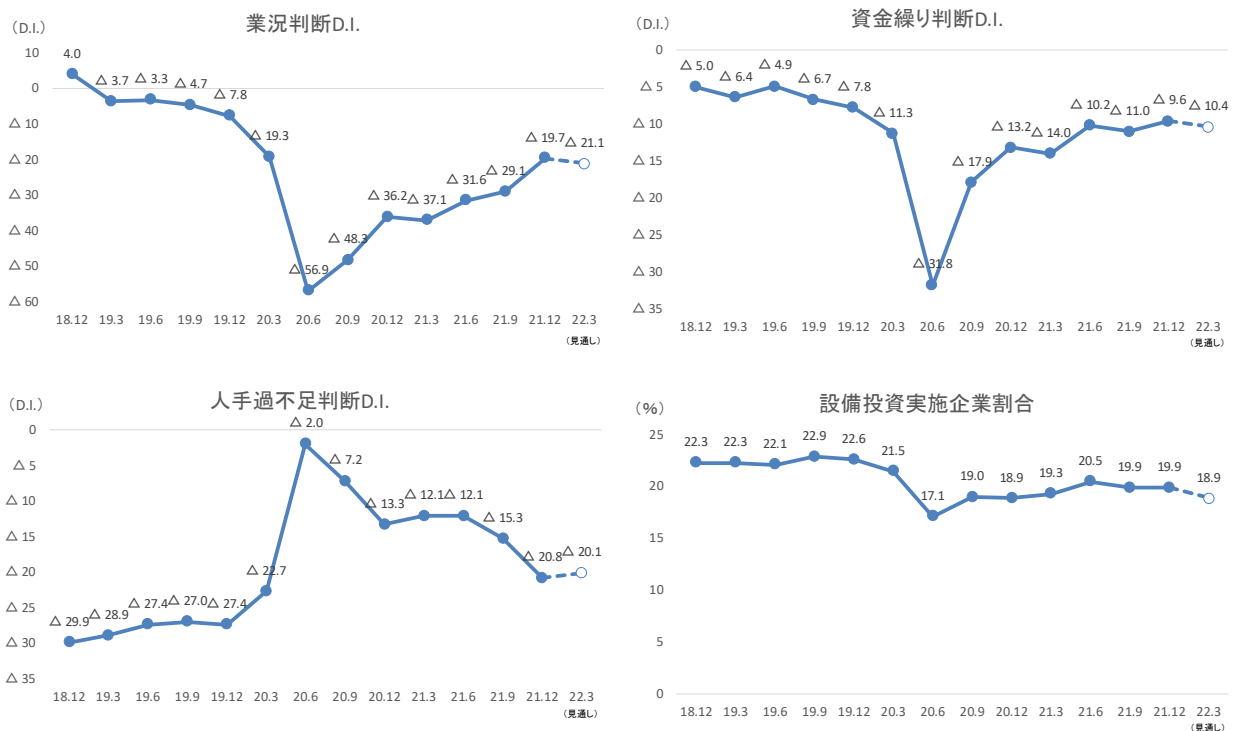
2021年12月の業況判断D. I. は、前期比で9.4ポイント改善し、 $\Delta 19.7$ となった（図表3左上）。過去最悪水準となった2020年6月（ $\Delta 56.9$ ）と比較すれば、相対的に良い水準にある。もっとも、プラスマイナス0前後だった新型コロナウイルス感染拡大前と比較すると、依然として低水準にとどまっている。また、2022年3月見通しは $\Delta 21.1$ と、1.4ポイントの小幅低下を見込んでいる。

そのほかの指標を整理する。資金繰り判断D. I. は、2021年12月で $\Delta 9.6$ と前期比で1.4ポイント改善した（図表3右上）。水準自体は、コロナショック以前にはおよばないものの、業況判断D. I. と比較すると大きく回復している。このことから、本業の回復は限定的ながらも、持続化給付金や、実質無利子・無担保融資などの政府による企業への資金繰り支援策が一定の効果を挙げていることが示唆される。

人手過不足判断D. I. は、2021年12月で $\Delta 20.8$ と前期比で5.5ポイント人手不足感が拡大し、人手不足感がコロナ前の水準に近づき、深刻な水準となっていることを示唆している（図表3左下）。建設業や製造業を中心に人手不足感が根強い。

設備投資実施企業割合は、2021年12月に19.9%と前期比で横ばいとなった。新型コロナウイルス感染拡大後、着実に改善傾向にあったが、上昇は一服した。なお、見通しが1.0ポイント低下の18.9%となっているが、本調査の傾向として、実際の実績は、前期時点の見通しを上回ることが多いため、見通しが低いからと言って来期の設備投資実施企業割合が低下するとは限らない（図表3右下）。全体としては、業況は回復しながらも、人手不足など懸念が表れてきていると言えよう。

（図表3）全国中小企業景気動向調査における主要指標の推移



（備考）信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 調査員のコメントから

今回も、信用金庫調査員を通じて、全国の中小企業・小規模事業者から多数のコメントが寄せられている。本稿では、これらのコメントを「仕入材料不足、価格上昇」「人手不足」「そのほか経営面での苦境」「前向きな取組み」「信用金庫、金融機関の取組み」の5つに分け、動向をまとめる。

（1）仕入材料不足、価格上昇

今回の調査においては、ウッドショック（図表4）、半導体不足（図表5）、その他原材料不足や資源価格高騰（図表6）といった、いわゆる仕入の「不足」や「価格上昇」に関連するコメントが前回からさらに多くみられた。高騰の背景には、コロナによる供給制約に加え、経済活動の再開に伴う需要の急激な高まりといった複合的な要因がある。

一方で中小企業の経営にとって重要となるのが、販売価格への転嫁状況である。「材料価格高騰の価格転嫁に合わせ、長年課題となってきた作業単価引上げ交渉を行ったところ、承認された。利益率は改善している。（建築金物製造 新潟県）」、「材料価格上昇については、請負価格上昇で対応している。全国的なニュースとなったことで、取引先に対しても、ほぼ理解を得られている。（管工事業 静岡県）」といった声は一部にとどまり、仕入価格の上昇を販売価格に十分に転嫁できないとのコメントが多くみられた。今後、コロナ禍から回復していく中で、仕入の動向に注視する必要がある。

(図表4) ウッドショックにより悪影響が出たとするコメント

コメント	業種	都道府県
ウクレレやギターに使用する木材が不足し、材料高となっている。販売価格引上げには限界がある。	ウクレレ、ギター卸売	埼玉県
ウッドショックの影響で仕入価格が高値で推移。大手ハウスメーカーからの引き合いが多い。	木材販売業	埼玉県
ウッドショックによって輸入木材の仕入価格は高止まりしている。販売価格を上げたが、全額は転嫁できていない。また、最近ではパワービルダーが高値で資材を購入するため、木材価格はさらに高騰が見込まれる。	建築資材卸売	神奈川県
ウッドショックの影響が大きく、見積もりを出した後に大きく価格が変わることがある。	建築工事等	静岡県
コロナによる工事進捗遅れやウッドショックによる仕入価格高騰により、資金繰りがひっ迫している。	土木建築工事	滋賀県
ウッドショックによる価格上昇や在庫不足は続いている。見積もりを取っても、1か月後には採算が合わなくなることもある。	床材製造	大阪府
引き続きウッドショックを受け、ベニヤやヒノキ等の価格が上昇している。マレーシアからの輸入材が届かず困っている。	木製品製造	岡山県
ベニヤ板等の原材料価格が2倍以上値上がりしている。価格に転嫁できないこともあり収益を圧迫している。	一般土木建築	東京都

(備考) 第186回全国中小企業景気動向調査および東京都信用金庫協会資料より信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成 (以下同じ)

半導体不足については、一部で「半導体不足を受けて新車の納期が大幅に遅れており、中古車需要が上がっている。当社には強い追い風である。（中古車販売 千葉県）」といった特需もみられるが、多くの企業で業績に悪影響が出ている。なかには、「ものづくり補助金が採択されたため設備導入をしたいが、半導体不足により納品が遅れている。（肉類卸売 神奈川県）」のように、設備投資に悪影響が出ている例もみられた。

(図表5) 半導体不足に悪影響が出たとするコメント

コメント	業種	都道府県
半導体不足により新車納入ができず、売上が立たない。また、中古車の仕入価格も上昇している。	自動車整備、販売	岩手県
半導体不足により受注減少。販路拡大したいが、今後、受注が急増したことの対応力を考えると、増やせずに増やせない。	自動車内装部品製造	埼玉県

ロックダウンの影響を受け、電子部品等の仕入が困難となり、新車の生産が遅れている。	自動車整備	埼玉県
半導体不足により在庫が不足。メーカーに発注しても4か月待ちとのこと。	冷蔵冷凍機器卸	静岡県
半導体不足により自動車の仕入が減少。業況回復は半導体不足解消以降となる見込み。	自動車小売	岡山県
自動車向けの半導体が不足しており、特に東南アジアからの部品供給問題が業況に大きく影響している。	合成樹脂成型	東京都

また、原油価格やその他資源価格の高騰に加え、コロナによる物流の混乱もあり、仕入自体ができなくなっているとの声も聞かれている。なかには、「2022年に増築予定も、建築費高騰が予想され、対応に苦慮している。（障がい者通所支援、介護サービス、老人ホーム 愛知県）」など、新規の設備投資に慎重になっている声も聞かれる。

(図表6) その他原材料不足や資源価格高騰により悪影響が出たとするコメント

コメント	業種	都道府県
赤潮の影響でタコ、ツブ、ウニの入荷ができず、品切れ状態。地域外の業者から買い入れているが、新商品の生産ができない。	酒類、水産加工品小売	北海道
小麦や油など原材料価格上昇を受け、商品価格をやむなく改定。消費者の反応は敏感であり、売上が減少した。	洋菓子製造	北海道
リンゴの生産量が少なく、価格が上昇している。	リンゴ卸売	青森県
コロナの影響で給湯設備の在庫が不足している。	不動産仲介	山形県
小麦価格上昇を受け、売上減少傾向。今後は大手企業との競争激化も予想されるため、販路拡大に努める。	小麦粉、飼料製造	岩手県
取引先農家の売上低調を受けて、売掛の回収に不安がある。また、中国産の農薬や尿素などの輸入が困難になっており、仕入価格上昇は続くとみている。	種苗、農業資材卸売	岩手県
サケ、サンマが大不漁となったことに伴い、売上が減少した。	発泡スチロール、段ボール卸売	岩手県
コロナの影響で中国や東南アジアからの部品調達が困難な状況。他ルートからの割高な仕入れを活用している。	電気機械器具製造	福島県
売上の半分がテイクアウトで、持ち帰り容器代の上昇を価格転嫁できず収益圧迫。店内飲食増加に向けて店舗改装を実施予定。	カレー料理店	埼玉県
原材料（生クリーム、小麦粉、砂糖、乳製品）の価格高騰を受け、販売価格をやむなく引き上げた。そのため業況は少々悪化している。	洋菓子製造	千葉県
ここ最近の原油、亜鉛の高騰に加え、円安が仕入価格に大きく悪影響をおよぼす可能性がある。	溶融亜鉛メッキ	新潟県
建築資材の不足および高騰が続いている。	建材卸売業	新潟県
資材の仕入価格が上昇したうえ、調達に今までにないほど時間を要するため、工期のめどが立たない仕事も増えている。	電気工事業	山梨県
多忙だが、材料高騰により利益はほとんど出ていない。機械導入による効率化についても、先行き不透明感から導入に踏み切れない。	自動車整備	静岡県
原油価格高騰により仕入価格が上昇している。販売価格への転嫁ができず、利益を圧迫している。	菓子小売業	静岡県

生産能力限界までフル稼働している。また、仕入価格上昇しているが、戦略的に販売価格は引き上げていないため利益率は低下している。	豆腐、大豆食品製造	兵庫県
需要に大きな変化はないが、ダンプ燃料に不可欠な添加剤など一部商品が品薄な状況にある。メーカーへの問い合わせなど、余計な労力を要している。	ガソリン、軽油小売	兵庫県
原材料価格が上昇しているが、販売価格に転嫁できていない。	麺製造	岡山県
中国産石材の価格高騰を受け、国内産石材への変更を検討中。	石材加工販売	岡山県
外国産（特にブラジル）の肉の仕入価格が高騰を続けている。	肉類小売	大分県
サプライチェーンの混乱により製造の滞りが生じていることから売上代金の入金も遅れている。今後の仕入れ見通しと資金繰りに注意が必要である。	モニター製造	東京都

（２）人手不足

前回までの調査に引き続き、人手不足を訴えるコメントが多くみられた（図表 7）。受注の回復に伴い、「新型コロナ以降、経費節減のため人員を削減し、結果として残業が増加した。最近では雇用の拡大を図っている。（観光土産品卸売 長野県）」のようなケースもみられる。また、「最低賃金引上げにより、新規雇用に二の足を踏んでいる。（生鮮食品小売 静岡県）」、「最低賃金引上げに伴い、人件費が増加している。人手不足は常に問題視している。（ビルメンテナンス 山形県）」、「パートの入れ替わりが激しく定着しない。常に人手を欲しているが、最低賃金増加の影響も考慮しなければいけない。（かまぼこ、てんぷら製造 和歌山県）」のように、最低賃金引上げの影響を懸念する声も聴かれる。

労働人口の減少が今後も続くなか、「熟練作業員の高齢化に伴い、技術継承や人材確保も必要だが、最新設備の導入による作業効率化や作業手順の見直し等でカバーしている。（総合建設業 山形県）」のように、生産性向上によって対応していく姿勢が求められるよう。

（図表 7）人手不足を訴えるコメント

コメント	業種	都道府県
慢性的な人手不足が続いている。労働条件改善したいが、人手不足による悪循環が続いている。	とび土工工事	北海道
人員が不足しており、新規事業への取組みについては考えられない。	コンクリート二次製品用型枠製造	山形県
人手不足が課題であるが、なかなか求人を出しても引き合いがない。	部品加工業	新潟県
業界の人手不足が深刻。廃業する同業者もいる。現在は受注制限している。	自動車板金	新潟県
生産増加に伴い、残業をしないと追いつかない状況。外国人の人材を確保しているが、コロナのため帰国できておらず、今後帰国した場合は人手不足になる可能性あり。	自動二輪製造	静岡県

最低賃金引上げにより、人件費が増加している。人材確保に苦労しており、受注回復しても売上が戻るには時間がかかる。	自動車電装部品製造	兵庫県
外国人労働者に依存しており、コロナにより人手不足で事業継続にも支障が出ている。廃業した同業者もある。	女性用ユニフォーム製造	岡山県
職人の高齢化に伴い技術力のある人材の確保が難しくなっていることから受注の拡大に繋がらない。	土木工事	東京都

(3) コロナによる苦境

一時期よりは減少したが、コロナによる苦境を訴える声はいまだに根強い(図表8)。今回の調査はオミクロン株が広まる前に実施されたものであり、現在はさらに厳しい状況となっていることが予想される。

今後も、コロナによる経営への悪影響について調査していく。

(図表8) コロナによって悪影響が出たとするコメント

コメント	業種	都道府県
外国人別荘向けの灯油配達需要が激減した。	プロパンガス、灯油販売	北海道
地域内飲食店の客足は戻らず、酒類の売上が低迷している。	酒類、文房具、たばこ小売	青森県
コロナによって減った需要が戻っていない。震災特需も落ち着いており、大規模工事は減少。	内装工事	宮城県
地域イベントや学校行事がない現状だと、売上を維持するのは難しい。	日用品小売	福島県
12月の旅行の予約が入っていない。毎年恒例のツアーも見送った。	旅行代理店	埼玉県
2020年に開業したが、稼働当初よりコロナによる高齢者の外出控えなどを受けて集客に苦戦している。	デイサービス(通所型)	神奈川県
高齢者の戻りが悪く、コロナ前と比較しても売上低調。	遊技場	長野県
コロナ禍で冠婚葬祭が自粛され、販売が減少している。	水引製造	長野県
コロナ禍で入退店の動きが少なく、仲介の売上が減少。買い入れの元金据え置きが終わり、返済が始まるころから動きが出てくると予想。	不動産仲介	静岡県
想定よりも、コロナからの回復が遅い。	エアコン建材製造	静岡県
コロナにより業界全般的に大打撃を受けており、業績回復の見通しが立たない。	酒類販売業	兵庫県
テレワークの浸透により当社が取扱っている都心物件よりも安く広い郊外物件に入居者がシフトしており、ここ1年くらい空室がでるとしばらく入居が決まらない状態が続いている。	不動産賃貸	東京都
イベント等の中止によりキャラクターグッズの受注の減少が続いており回復には時間を要すると思われる。	ぬいぐるみ生地卸売	東京都

(4) そのほか経営面での苦境

今回の調査においては、そのほかの経営面での苦境についてのコメントも寄せられた

(図表9)。また、構造的な要因に伴い需要が減少しているとの声も聴かれる(図表10)。

こういった苦境については、コロナから回復しても続く可能性が高い。現在も厳しい状況ではあろうが、立ち直りに向けた取組みが望まれる。

(図表9) そのほか経営面での苦境に関するコメント

コメント	業種	都道府県
携帯電話料金引下げ要請に加え、商品仕入れの遅延などから影響を受けている。	携帯電話代理店	北海道
来店客数減少に加え、薬価改定により粗利も減少。キャッシュレス決済により、代金回収サイトが悪化している。	調剤小売	北海道
格安スマホへの移行が著しく、顧客離れが進んでいる。市内スーパー等でブースを設けているが、なかなか顧客を獲得できない。	携帯電話小売	北海道
新聞購読者は減っていないが、広告収入が減少している。保険等の見直しを検討している。	新聞販売	茨城県
サブスク台頭により、売上減少が顕著。現事業を縮小し新事業を展開し、業況改善を図る。	DVDレンタル	静岡県
空き地、空き家が増え、買い手がなかなかいない。	不動産売買、管理	岡山県
大手企業撤退を受け、受注は大幅減少見込み。他業種参入を含め検討中。	海運業	広島県

(図表10) 構造的な需要減少についてのコメント

コメント	業種	都道府県
地域の人口減少に伴う顧客確保が課題。近隣に競合する店舗はないが、市街地に顧客が流出している。	ガソリンスタンド	秋田県
データの電子化により紙離れが進み、業況は右肩下がり。先行き不透明感から、借入にも慎重。	印刷業	秋田県
コロナの影響に加え、量販店との競合、人口高齢化などの影響を受けている。固定客のアフターフォローを充実させるほか、単価の高い装飾品を展開していく。	時計、眼鏡販売	岩手県
大手企業との格差が開く一方、零細企業では仕入価格の上昇を転嫁できず、利益が減るばかりである。	種苗、園芸用品販売	栃木県
店舗老朽化、固定客高齢化、大型量販店やネット販売店等の競合により売上減少。人縁、地縁の営業には限界がある。	寝具販売、リフォーム	茨城県
印鑑レス社会への移行が進んでいる。廃業を選択している同業者も増えている。	印鑑、はがき小売	埼玉県
地場産業の衰退の影響が強い。新商品開発等による新規顧客開拓が課題。	瓦用塗薬	愛知県
永代供養が主流になりつつあり、墓石の需要が減少するものと見込んでいる。事業展開を模索中である。	石材加工販売	岡山県

(5) 前向きな取組み

今回の調査では、仕入の困難や人手の不足といった窮地に立たされている企業が多くみられる一方で、新規事業への参入や新商品開発といった前向きなコメント(図表11)や、M&Aなど積極的な事業展開を行うとするコメント(図表12)もみられた。

(図表11) 新規事業参入や新商品開発に関するコメント

コメント	業種	都道府県
補助金を活用し、テントクリーニング事業を開始。商品サービス拡充によりコロナに対応する。	クリーニング業	北海道
靴底をきれいにする新商品を開発。各種制御盤の製造開発で培った技術を活かして医療機器分野の開拓にも乗り出す。	電気機械製造	群馬県
主要取引先の飲食店の業況厳しいが、新規事業として地ビール製造販売に着手している。	醤油、味噌、酒類卸売	新潟県
既存建物に対するアスベストの規制が厳しくなることをビジネスチャンスとしてとらえ、営業活動を強化する。	解体工事業	新潟県
コロナ拡大、半導体不足による影響あり。新分野への参入も検討中。	樹脂成型用金型	静岡県
コロナ禍を受けて低調。関連企業と連携し、新事業や地域活性化事業に着手し、長期的な改善努力を図っている。	不動産業	愛知県
来年、工場や設備の新設を見込む。社長自ら外部のデータベースを活用し、新規開拓を実施している。	金属製品製造	滋賀県
デジタル化が進むにつれ、印刷用紙の需要が減っている。紙を使用したマスクケースを開発する計画もあり、売上高増加への対策を講じている。	紙卸売	大阪府
売上はコロナ禍前に戻っているが、オミクロン株の影響が不安なため、テイクアウトメニューの開発等対策を急いでいる。	寿司、居酒屋	岡山県

(図表12) M&Aに関するコメント

コメント	業種	都道府県
業界動向を踏まえると、今後の拡大は厳しい。M&Aによる他分野への進出も検討。補助金活用により生産性向上も図る。	林業機械製造	北海道
周辺分野へ進出するべくM&Aを検討中。	安全保護具製造	埼玉県
地元ゼネコンからの受注が増加し、外注比率が上がっている。従業員の採用、もしくは廃業予定の会社のM&Aも視野に入れて活動している。	道路舗装工事	静岡県
M&Aにて食品製造会社を購入したい意向がある。自社製品を作り、販売価格を抑えたいという考え。	飲食料品小売	静岡県
M&Aにより新社長が就任。営業職増員と設備投資を予定。信用金庫で人材紹介サービスの申し込みを受け付けた。	金属旋盤加工	愛知県
商品を販売するためのコンサルティング力を高める必要がある。M&Aなどでデザイン会社を子会社化するなどを考えている。	特殊産業用機器卸	兵庫県

今回の調査では、ECサイト等のネット販売や、SNSなどの情報発信ツールによって需要を獲得したとのコメント(図表13)も数多くみられた。中小企業が積極的に需要を獲得するための新たな手段として注目される。また、社内でIT化を推進することによって生産性を向上させようとするコメント(図表14)もみられた。

(図表13) ネット販売やSNSなどで需要を獲得しているとするコメント

コメント	業種	都道府県
依然として巣ごもり需要の恩恵を受ける。インターネット販売の売上も好調。	カーテン、レース卸売	群馬県
コロナ禍でもネット販売は好調に推移。コロナ鎮静化後は冠婚葬祭による需要が拡大すると見込んでいる。	贈答品小売	埼玉県
インターネット販売が増加傾向。HPやSNSを活用し、宣伝強化を図っている。品揃えで他店との差別化を行っている。	酒類販売	埼玉県
コロナ禍でも、インターネット販売に注力し、一定の売上を確保した。	婦人服卸売	静岡県
SNSを活用した販売促進により、集客力が高まっている。	青果小売	愛知県
顧問先の業況悪化や廃業に伴い売上減少している。SNSを活用したセミナーや独自の顧客フォローアップなど付加価値向上に努めている。	税理士	愛知県
コロナ禍でもWebセミナーにより商品PRを行ってきた。今後も受注増加が見込まれる。	ランドセル、スーツケース製造	大阪府
最近はSNSを利用しながら割引の情報やイベントの実施を発信している。来店客数も増えている。	米穀販売	大阪府
製造部門を廃止し、ネット販売を開始したことで、売上増加と利益確保を図れた。	ナッツ製造小売	佐賀県
インターネットでの販売が増加、ワクチン接種の上昇により、来店客も増加している。	餃子小売	茨城県

(図表14) IT活用による生産性向上に関するコメント

コメント	業種	都道府県
DXに向けて従来より活動しており、パイオニアになることで市場シェアを高める戦略を取っている。	地図データ製作	北海道
一時的に売上げが減少したものの、Web商談等のシステム導入により営業活動の効率化を図っている。	溶剤、塗料卸売	静岡県
従業員やパートの習熟度に差があり、特定の人に負担化がかかり、残業代も増加する悪循環が発生している。タブレット端末での注文受けができるシステムについて検討中。	レストラン	山口県

(6) 信用金庫、金融機関の取組み

コロナ禍が冷めやらぬなか、信用金庫をはじめとする金融機関に求められる役割は大きく、各機関とも対応を行っている。本稿では、金融機関の取組みについてのコメント(図表15)を紹介する。

(図表15) 金融機関の取組みについてのコメント

コメント	業種	都道府県
会長の高齢化を受け、信用金庫から事業承継を提案中。遠方から受注依頼あるも、生産が追い付かず受注断ることもある。	自動車整備	北海道
販路拡大を重点施策としているため、信用金庫からビジネスマッチング等案内する。	防水工事	岩手県

人手不足に変化はない。ICTも導入し、効率化を図る。信用金庫からは、IT導入補助金について説明済み。	総合建設業	福島県
今後の事業の内容を広げるべく、事業再構築補助金の申請を予定。信用金庫でも支援する。	建設工事	埼玉県
来年に法人閉鎖する予定。順調な閉鎖に向け、信用金庫としても支援していく。	ガラス加工品販売	千葉県
保証協会の外部専門家派遣を活用し、コンサルティングを受けている。今後は収益強化を図る。	木製品製造	神奈川県
今後、IT化を目指しており、信用金庫から補助金を活用した支援を行っていく。	いちご製造	静岡県
原材料価格の上昇と人手不足が課題。信用金庫からはビジネスマッチングできる企業を紹介中。	自動制御装置の設計、製造	滋賀県
人手不足が課題のため、信用金庫から人材サイトなどを紹介する。	輸入車ディーラー	滋賀県

おわりに

本稿では、2021年12月に実施された全国中小企業景気動向調査における調査員のコメント欄をもとに、中小企業の動向についてまとめた。

今回の特徴として、仕入の困難を訴える声が増えたことが挙げられる。また、前回に引き続き、人手不足や新型コロナウイルスの被害を受けている企業からの声も多く寄せられている。

2022年3月調査（調査時期：3月初旬）においては、特別調査で「原材料・仕入価格の上昇による中小企業への影響について」をテーマとし、調査を実施する。

本稿で採用しているコメントは、いずれも信用金庫職員が調査員となり、渉外活動を通じて収集したものである。それぞれの事業者の置かれている現下の状況について、数多くのコメントをお寄せいただいた。調査にご協力いただいた中小企業経営者と信用金庫職員の方々に対して心からお礼を申し上げたい。

以上
(品田 雄志)

<参考資料>

- ・信金中央金庫「第186回中小企業景気動向調査（2021年10-12月期）」

本レポートのうち、意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。また当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データなどに基づいてこのレポートは作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。

【産業企業情報バックナンバーのご案内】

号 数	題 名	発行年月
2019-8	中小企業景気動向調査からみた2019年の回顧と2020年の展望 —調査員のコメントからわかる中小企業の生の声—	2020年 1月
2019-9	ゼロから考える「中小企業のSDGs」 —前向きな取組みで企業経営の改善と社会問題の解決を両立—	2020年 2月
2019-10	中小企業の「継続力」を考える④ ～ファミリービジネスにおける後継者育成～	2020年 3月
2020-1	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響 —調査員のコメントからわかる中小企業の現状—	2020年 4月
2020-2	中小企業の「継続力」を考える（総括編） —“ファミリービジネス”の経営が示唆するものは何か—	2020年 5月
2020-3	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか① ～多様化・高度化が進む事業承継局面での選択肢～	2020年 6月
2020-4	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響② —業況の急激な悪化の一方、新しい取組みも—	2020年 7月
2020-5	信用金庫の視点でひも解く2020年版中小企業白書・小規模企業白書 —新たな「価値」を生み出す中小企業、地域で「価値」を生み出す小規模事業者—	2020年 8月
2020-6	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか② ～適切なタイミングを見据えた早めの対応がカギを握る役員・従業員承継～	2020年 9月
2020-7	新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について —全国中小企業景気動向調査から—	2020年 10月
2020-8	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響③ —業況はわずかに回復、様々な取組みを行う企業も現れる—	2020年 10月
2020-9	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか③ ～事業の「磨き上げ」が大きなカギを握るM&Aなどの「社外への引継ぎ」～	2020年 12月
2020-10	中小企業経営の注目キーワード10	2021年 1月
2020-11	中小企業景気動向調査からみた新型コロナウイルス感染拡大の影響④ —業況はわずかに回復、デジタル化やIT化を進める企業も—	2021年 1月
2020-12	新型コロナ感染拡大の裏に潜む中小企業の人手不足問題 —ダイバーシティ推進と生産性向上が求められる—	2021年 3月
2020-13	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか④ ～事業承継を模索するなかでの「廃業という選択肢」の可能性～	2021年 3月
2021-1	全国中小企業景気動向調査からみたコロナ禍における中小企業の動向 —業況は低水準ながら前向きな事業戦略を進める企業も—	2021年 4月
2021-2	中小企業は「後継者不在」へいかに対応すべきなのか（総括編） ～「早めの対応が不可欠」であることの再認識を～	2021年 5月
2021-3	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」（導入編） —数々の危機を乗り越えてきた「長寿企業」の経営が示唆するものとは—	2021年 6月
2021-4	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」①（製造業編） —変革に挑み続ける製造業の長寿企業の危機対応事例—	2021年 6月
2021-5	全国中小企業景気動向調査からみた中小企業の動向 —依然続くコロナ禍の被害、前向きな事業戦略を進める企業も—	2021年 7月
2021-6	信用金庫の視点でひも解く2021年版中小企業白書・小規模企業白書 —新型コロナウイルス感染症拡大を受けた中小企業と小規模事業者—	2021年 8月
2021-7	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」②（建設業編） —同業者等との“連携”に見出す建設業の長寿企業の危機対応事例—	2021年 9月
2021-8	全国中小企業景気動向調査からみた中小企業の動向 —人手不足、仕入困難に悩まされる中小企業—	2021年 10月
2021-9	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」③（商業編） —“不変の原理”を拠り所とする卸売業・小売業の長寿企業の危機対応事例—	2021年 12月

*バックナンバーの請求は信金中央金庫営業店にお申しつけください。

信金中央金庫 地域・中小企業研究所 活動状況 (2021年12月実績)

○レポート等の発行状況

発行日	レポート分類	通巻	タイトル
21.12.3	内外金利・為替見通し	2021-9	今年最後の12月会合でも、日銀の金融政策に特段の変更はない見通し
21.12.3	金融調査情報	2021-22	大和証券グループのSDGsへの取り組み
21.12.8	ニュース&トピックス	2021-56	株式会社クレディセゾンの「1on1ミーティング」実施
21.12.8	金融調査情報	2021-23	信用金庫の個人ローン残高の動向
21.12.9	ニュース&トピックス	2021-58	2021年11月末の信用金庫の預金・貸出金動向(速報) —統計開始以来初めて、要求払預金が定期性預金を上回る—
21.12.9	内外経済・金融動向	2021-6	国内観光業はコロナ禍の苦境から抜け出せるか —渡航制限下でも国内観光支出は9割回復可能。訪日外国人の支出は円安でかさ上げも—
21.12.20	ニュース&トピックス	2021-62	空知信用金庫の無人販売所「そらちしんきんマルシェ」について
21.12.28	産業企業情報	2021-9	環境激変に挑む中小企業の「危機対応」③(商業編) —“不変の原理”を拠り所とする卸売業・小売業の長寿企業の危機対応事例—

○講演等の実施状況

実施日	講演タイトル	主催	講演者等
21.12.3	地域金融機関の課題 地域密着金融の取り組み	静岡大学、 静岡県信用金庫協会	鉢嶺 実
21.12.10	日本経済の現状と展望について	西武信用金庫	角田 匠
21.12.15	内外経済情勢と今後の展望	奈良中央信用金庫	角田 匠
21.12.18	信用金庫における預貸利鞘の決定要因	生活経済学会九州部会	品田雄志

<信金中央金庫 地域・中小企業研究所 お問い合わせ先>

〒103-0028 東京都中央区八重洲1丁目3番7号

TEL: 03-5202-7671 (ダイヤルイン) FAX: 03-3278-7048

e-mail: s1000790@FaceToFace.ne.jp

URL <https://www.shinkin-central-bank.jp/> (信金中央金庫)

<https://www.scbri.jp/> (地域・中小企業研究所)